



瀬戸内地域の陸と海をつなぐ持続可能な 水畜連携エコシステム構築の可能性を探る

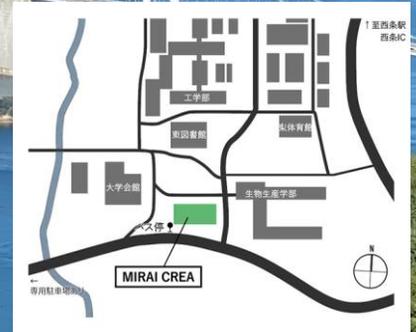
畜産から生じる家畜排せつ物は処理施設の整備により、適正に処理されているものの、堆肥等を通じた農地への窒素の蓄積が起きていると考えられる。一方、瀬戸内海ではこれまでの赤潮発生等への対応から、海の貧栄養化による養殖ノリの色落ちなどが問題になっている。その要因の一つが、陸と海をつなぐ持続可能な循環系が形成できていないためだと言われており、畜産を含む農業と水産との間で情報が共有されていないことにあると考えられる。このセミナーでは、両分野が連携し、解決に向けた議論の手掛かりを探るものである。

日時

2023年 12月19日(火) 13:00~16:00
(受付12:30~)

会場

広島大学フェニクス国際センター ミライクレ2階大会議室
(東広島市鏡山1-4-5) +オンライン (Zoomウェビナー)



- 13:00~ 開会のあいさつ 中四国アグリテック 黒川 勇三
- 13:10~ 講演1「畜産に関する飼料自給と物質循環」
東京農工大学 農学研究院生物生産科学部門 田中 治夫 氏
- 13:50~ 講演2「畜産汚水処理の現状と課題」
岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 白石 誠 氏
- 14:30~ 講演3「瀬戸内海における栄養塩類供給と水産物の生産」
(国研)水産研究・教育機構水産技術研究所 阿保 勝之 氏
休憩 (15:10~15:20)
- 15:20~ 総合討論 司会 広島大学 生物生産学部 黒川 勇三 氏
- 15:50~ 閉会のあいさつ 中四国アグリテック 舟橋 弘晃
閉会后、個別相談 マッチング、競争的研究資金等のご相談も承ります。



<主催> 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室、
特定非営利活動法人 中国四国農林水産・食品先進技術研究会 (NPO法人中四国アグリテック)

<後援> 公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会 (JATAFF)

<申込方法> 右の2次元バーコードより12月17日(日)までに中四国アグリテック事務局へお申込み下さい。

<問合せ先> 特定非営利活動法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会 (略称:NPO法人中四国アグリテック)
Tel: 086-237-3340 E-mail: agri-tech2007@dune.ocn.ne.jp
会場参加は申込先着順で定員70名になり次第締め切らせて頂きます。

